



天草高校育友会では、例年、生徒会や各地区の保護者と情報交換のために懇談会を開催しています。  
 今年度は、生徒との懇談会を7月に、牛深地区の保護者との懇談会を9月に開催しました。

### 育友会と生徒会との懇談会



育友会副会長  
松元 正治

7月31日午後2時から、平成24年度第1回育友会と生徒会との懇談会を開催しました。参加者は、生徒会から会長他役員10名、育友会から会長他役員4名、学校から先生3名でした。  
 主な議題は、「天草高校を活性化するためには」「文化祭での育友会の企画について」「携帯電話について」の3点でしたが、生徒会からそれぞれについて、具体的な要望や建設的な意見が出され、天草高校を良くしたいとか、学校生活を楽しくしようと考えているのだと感心させられました。  
 文化祭での育友会による「カレー」と「焼きそば」は、楽しみにしているの、続けてほしいという意見も聞かれ、とても有意義な懇談会でした。

### 育友会と牛深地区保護者との懇談会



広報委員会  
大石 明彦

去る9月18日、牛深商工会議所に於いて校長先生を始め各主任の先生、育友会役員ご臨席のもと牛深地区懇談会が開催されました。保護者の関心も高く、会場は参加者でいっぱいになりました。

懇談会ではプロジェクターを使って、学校生活や寮生活の様子などをわかりやすく説明していただきました。牛深出身の多くの生徒が寮生活をしている関係上、保護者からは第一女子寮の移転に伴う質問が多数あり、活発な意見交換会になりました。遠隔地のため、育有会総会等学校行事になかなか参加できない保護者にとっては学校の様子を直接先生からお聞きすることができる貴重な機会となりました。  
 夜遅くまでお付き合いいただいた先生、育友会役員の皆様ありがとうございました。



牛深地区懇談会のようす



全国高等学校PTA連合会大会

## PTA全国大会に参加して



育友会会長  
山浦 孝弘

8月23日から2日間の日程で、山村校長先生と和歌山大会に参加しました。  
 今年のテーマは、「和をもつて響き合え〜つれもて広げる共有の輪〜」のもと全国各地より私たちと同じ思いをもつ多くの保護者に参加されました。

大会二日目は、川口淳一郎教授による「はやぶさが挑んだ人類初の往復の宇宙旅行、その七年間の歩み」という基調講演がありました。はやぶさは、地球の構造を知るために必要な情報収集と地球引力圏外の天体へ着陸し、往復するといった二つの目的があったと聞きまし。又、七年間の間には、数々の故障や困難に直面したが、プロジェクトのメンバー全員が、ミッションの目的を共有し、高いモチベーションをもって取り組んだことが地球への帰還の成功につながったという話をされ、今私たち育友会

にも重なるところがあると思います。目的を共有することの大切さを感じさせる講演でした。  
 大会二日目は、学校教育とPTAという分科会で「生きる力」を育成する学校づくりを目指して、PTAはどのような支援をすべきかというテーマのもと全国から選ばれたPTAの発表が行われました。  
 特に、私が今後力を入れていきたいと思ったことは、生徒・先生・保護者による協議の場を増やすことで、一歩一歩前進していきたいと考えています。  
 最後に、子どもたちの明日の為に、同じ目的を共有し、夢の実現・健全育成に一層努力する決意を再確認した大会でした。

### 不妊や思春期の性の現状について

9月27日に内田産婦人科医院（福岡県行橋市）で助産師をされている内田美智子先生を講師にお招きし、性教育懇談会と性教育講演会を行いました。



養護教諭  
山川 さおり

午前中に行われた性教育懇談会では、天草地区高等学校の養護教諭と本校職員が参加し、不妊や思春期の性の現状について話を聞きました。その中で、15歳から16歳の性交経験率が上がる要因として、

- ① 家族と性の話をする。
  - ② 家族が自分に無関心だと感じている。
  - ③ などが背景にあること。
- また、性に興味のない若者や、束縛して愛情を確かめるDVが増えているということもわかりました。

今後は、生徒のニーズや現状を踏まえ性教育の目的をどこに置くのかを明確にし、集団指導・個別指導など様々な手法で生徒たちにアプローチしていく必要があると感じました。  
 午後からの性教育講演会には、全

## 平成24年度天草高校 性教育講演会

REPORT

内田美智子先生 演題

いのちをいただいてつなぐこと  
いずれ一人で生きていく君たちへ



ことは、奇跡が重なった奇跡だと思ふので、家族に感謝して生きていきたい」「僕に命をくれた両親に感謝します」  
 講演の内容を詳しく知りたい方は、内田先生は多くの著書を出されていますので、ぜひ読んでみてください。

「人はそこにいるだけで価値がある」「今の自分の状況が当たり前ではなく、一人では何もできない自分を支えてくれている親に感謝すること」などを話されました。

お弁当を作ってくれたお母さんに文句ばかり言っていました。今度、おいしかった、ありがとうと言いたいです。「自分が生まれたことです」  
 次のような保護者への感謝の気持ちが出山綴られていました。「忙しい中、お弁当を作ってくれたお母さんに文句ばかり言っていました。今度、おいしかった、ありがとうと言いたいです」

### 夏休み 夜間パトロールを終えて



健全育成委員会  
木本 圭子



恒例の3校合同夜間パトロールに参加しました。  
 約20名の3校の役員が自転車と、自動車に分かれ、市内繁華街を巡回しましたが、時間が早かったせいか、高校生らしき姿は見当たりませんでした。保護者と警察と一緒に巡行を行っているということを、地域の方々に知ってもらいたい機会になったと思います。今後、天草高校の生徒の皆さんの健全な成長を、保護者として日々願っています。

### 交通指導

安全な登下校はみんなの願い！



生徒部主事  
谷脇 晋



毎朝たくさんの小学生・中学生・高校生が登校する姿がみられます。保護者の皆様は「元気に学校で頑張っている」という思いで見送っておられると思います。今年度当初から、交通違反や交通事故が後を絶ちません。特に登校時は時間を急ぐことが原因となつていようです。時間に遅れまいと、自分勝手な運転で歩行者、自動車に気を配れない様子が窺えます。交通社会は「譲り合い」の精神で成り立っています。交通事故は相手も自分も傷つきます。みなさんが元気に明るく学校生活を充実させ、活躍することが保護者の方や地域の願いです。日頃の生活から相手を思いやる気持ちで、お互いマナーを守った生活を送りましょう。